



.....努力はうそをつかない ないたい自分への第一歩

いつになく雪の多い12月、雪が降っても、降らなくても子ども達は元気に外で遊んでいます。グランドにできた雪山は、休み時間になると笑顔の子ども達で一杯です。これも保護者の方のご好意で作っていただいたもの、子ども達のためにという想いに頭が下がります。

明日からは、子ども達が楽しみにしていた冬休みが始まります。2学期中も、保護者の皆様にはいつも多大なるご支援ご協力をいただきました。心より感謝申し上げます。

さて、2学期の終業式では子ども達の今年の頑張りにエールを送りました。学校では学習に運動に、校外の活動ではありますが、スポーツ少年団の活動、龍神太鼓、カルタ、ピアノ、習い事、いろいろな場面で子ども達は頑張っていました。その努力はかけがえのないもので、一人一人の可能性を伸ばす頑張りだったと思います。お父さん、お母さんに勧められたものだったり、自分で進んで…とまではいかなくとも、努力の結果変わっていく自分に気づいたとき、喜びと新たな意欲につながっていきます。まだまだ具体的なものでなくても、将来の自分を思い描き、今自分のしていることの先になりたい自分がいる。そして、これから自分のために今、何をすることが大切なのか考え、子どもたち自身の手で自分の活動を推し進めてくれることを期待しています。

子どもにとっては、その未来を切り開くための努力と頑張り。ではそんな子ども達に大人としてどう関わっていけば良いのでしょうか？それは、子ども達が将来社会人として自立していくために身に付けるなければならないことを教え導き、環境を整えるということではないかと思います。

一人一人に個性があるように一人一人の子ども達が必要としていることは違います。その子が成長し自立した時に困らないよう、子ども達一人一人に合わせた関わり方こそ、個に応じた指導といえるのではないかと思います。

子ども達には、「1年のスタートお正月を機会に、なりたい自分を想像してみよう。そして、そうなるために何か一つ自分のためになることを始めてみよう。」と話しました。私たちは、来年もまた一人一人の子ども達の顔を見ながら、その子に合った関わり方・指導に努めていきたいと思います。

来年もよろしくお願ひいたします。

校長 山本尋子



体育館ボイラーについて

本日、本校ボイラーについて委員会からの文書を配布いたしました。

体育館ボイラーの煙突については仮煙突の設置、校舎ボイラーについてはこのまま稼働となりました。体育館の仮煙突設置工事は1月中の予定となっています。長い期間、子ども達には不自由な思いをさせましたが、この先の見通しが立ち、ほっとしております。もう少し、この状態が続きますが、ご理解とご協力をお願いします。